

三条市総合計画（案）に対するパブリックコメント一覧

令和4年11月25日から12月15日まで実施したパブリックコメントにおいて提出された意見の要旨と意見に対する市の考えを報告します。

[第1章 子どもが健やかに育つ環境づくりについて]

NO	意見要旨	市の考え
1	<p>教育現場が抱える問題が多様化している中で、子どもに直接接する教員の多忙さを解消することが三条市の教育の質の向上に不可欠であり、特に注力すべきである。</p>	<p>教育の質の向上には教員の指導力の向上や子どもと向き合う時間を十分に確保できる環境の形成などが欠かせないと考えています。</p> <p>そのために教員が担うべき業務の見直しはもとより、学校に関わる多様な人材の活用などに取り組み、教員の多忙さの解消を図ってまいります。</p>
2	<p>「適切な規模の集団で活動していく機会を確保する」とあるが、学校の統廃合はコミュニティの核を失うことでもある。地域と学校とのつながりを大切にしてほしい。安易な統廃合には反対だ。</p>	<p>学校と地域とのつながりは、そこで生まれる交流や先人の営みに関する学びなどを通じ、より良い地域を形成しようとする主体的な意識の醸成を図る上でも重要と考えています。</p> <p>仮に、将来的に適正な規模を確保するため、学校の統廃合を検討する場合には、地域の要望等に十分配慮してまいります。</p>
3	<p>子育て施策は、他の市町村に比べて劣っている。若い世代に三条市に残ってもらうためには、少なくとも同水準の支援は確保すべきである。</p>	<p>転出を抑制し、転入を促進していくためには、安心して子どもを授かり、育てることのできる環境や未来を担う子どもが健やかに成長し、その力をより良く伸ばすことのできる環境を充実させていくことが必要と考えています。</p> <p>そのため、総合計画案では「子育て、教育環境」を特に大切にすべき視点に位置付け、各般の政策、施策を推進していくこととしています。</p>

4	<p>子育て支援といってもそれぞれの状況によって必要な支援策は異なる。一般的な支援だけではなく個々の状況に即したきめ細かな支援を望む。</p>	<p>生活に困窮している世帯やひとり親世帯等、それぞれの状況に応じた支援を講じていくことが必要と考えています。</p> <p>総合計画案では、子育て世代に対する共通の支援に加え、個々の状況に目配りした経済的な負担の軽減や不安の解消を掲げ、必要な取組を進めていくこととしています。</p>
5	<p>部活動の地域移行に伴い、参加費など、経済的な理由からかえって希望する競技を続けられなくならないよう、経費の補助等を行ってほしい。</p>	<p>部活動の地域移行に際しては、各家庭に応分の負担を求めることは避けられないと考えていますが、それが過大なものにならないよう配慮するとともに、各家庭の経済状況を踏まえた支援の在り方についても併せて検討してまいります。</p>
6	<p>保育士の奪い合いが起こっている状況の中、潜在保育士サークルの運営などが抜本的な問題の解決に寄与するとは思えない。もっと踏み込んだ対策を講じるべきである。</p>	<p>保育施設に要する経費は、国が定員に応じて定めており、抜本的な給与の改善は、国主導で行うべきものと考えています。</p> <p>基礎自治体を実施し得る取組として、総合計画案では、保育現場の負担軽減や潜在保育士の掘り起こしを掲げていますが、必要な取組を更に検討し、実施してまいります。</p>
7	<p>滝沢市長になってから子育て支援策は充実してきたが、隣の燕市と比べて子育てしにくいまちというイメージが払しょくできていない。支援の充実と併せて、もっと子育てに関する情報発信を積極的に行うべきである。</p>	<p>いかに優れた施策を展開したとしても、それを求める市民に認知されなければ、その真価を発揮することはできません。「良いものや良いことは、いつか自然に知ってもらえるはず」という誤った思い込みを捨て、各種の取組の発信に努めてまいります。</p> <p>あわせて、子育て世代のニーズの把握に努め、更に必要な支援の充実に取り組んでまいります。</p>

8	<p>幼い子への支援は、十分に盛り込まれていると思う。</p> <p>一方で、児童養護施設から18歳で卒業したのちに、就職したものの、継続せず路頭に迷ってしまう子など、もう一度学びたいという18歳以上の子に対する支援も検討してほしい。奨学金や補助金などについても検討してはどうか。</p>	<p>三条市ではこれまで子どもの成長段階、ライフステージに応じた切れ目のない一貫した支援を行うため、子ども・若者総合サポートシステムの取組を進めてまいりました。御指摘のように様々な理由で生きづらさを抱えている若者を支えていけるよう、総合計画案に同システムの更なる充実を掲げることとします。</p> <p>また、市内への就職等を条件に返済を免除する貸与型の奨学金制度は既に設けておりますが、その拡充を含め、個々の事情に寄り添った若者に対する支援に取り組んでまいります。</p>
9	<p>「保育環境の充実」は、安心して子供を産み育てる事の出来る施策だと思われ大賛成である。三条市では、多くの施設を民営化したが、今後これらの施策を行うためには、再び直営の施設に戻すこと、保育士の給与水準上げること、配置人員を増やすこと、本人の希望以外正規職員とすることが必要と考える。</p>	<p>保育施設の民営化は、財政負担の軽減に加え、民間活力の導入によって多様なサービスを提供することを目的に実施したものです。そのため、再度直営とする考えはありませんが、公立、私立を問わず、質の高い保育を提供するためには、保育士の労働環境の改善が必要と考えています。</p> <p>給与の抜本的な改善は、基本的に国主導で行うべきものですが、現場における保育士の負担軽減や潜在保育士の掘り起こしによる保育士の確保など、基礎自治体で実施し得る取組を私立保育園などとも連携しながら進めてまいります。</p>
10	<p>特に、安心して放課後を過ごせるよう、希望する児童全てが放課後児童クラブを利用できるように整えて欲しい。現在は4年生以上の児童の多くは在籍できない状態だ。</p>	<p>児童クラブの利用は、原則4年生以下としていますが、個々の事情によって必要な場合は5年生以上も受け入れていきます。</p> <p>施設に限りがあることから、すべての学年を受け入れることは困難ですが、今後も状況に応じた柔軟な対応を行ってまいります。</p>

11	<p>児童クラブの職員の待遇、人員数の対応が必要である。</p>	<p>安定した児童クラブの運営には、十分な指導員を確保することが必要と考えており、御指摘を踏まえ、1-2-1「(3)放課後等の過ごし方の充実」に「児童クラブの安定的な運営や担い手の確保」に取り組むことを追記します。</p> <p>また、その待遇についても、これまでも保育士の給与改定などと併せて検討、見直しを図ってまいりましたが、今後も国の動向を注視しつつ、労働環境の在り方も含め、検討を行ってまいります。</p>
----	----------------------------------	---

[第2章 持続可能で個性的な地域産業の振興について]

NO	意見要旨	市の考え
12	<p>無理を承知で言えば、最低賃金を1,500円にして、減税を同時に直ちに行なってほしい。(アメリカ、フランスで、持続的な賃金上昇の実績あり)</p>	<p>安心して日々の暮らしを送っていくためには、働く場の魅力を高めていくことは極めて重要と考えています。</p> <p>減税や最低賃金の引上げに、基礎自治体として取り組むことは困難ですが、地域の雇用労働環境の改善を、総合計画案では、重要な課題として位置付けており、所得の向上を始めとした職場の幸福度の向上に取り組むこととしています。</p>
13	<p>この地域は県内でも低賃金地域とレッテルが貼られている。まずは、市が率先して地域賃金が上がる、生活の負担が減る、子育てしやすい、安心できる三条市を目指して欲しい。</p> <p>市の職員について、本人の希望以外正職員とし、パート等正規職員でない人の時給も生活できる金額に設定してはどうか。</p>	<p>三条市では、地方公務員法に定める給与決定の原則に基づき、担う業務の性質や責任の程度に応じて給与を設定しています。そのため一律の処遇とすることは考えていませんが、生活を送っていく上で必要となる適正な水準の確保には、十分に留意してまいります。</p> <p>また、働く場の魅力の向上は、重要な課題と捉えており、総合計画案においては御指摘の所得の向上を始めとする労働環境の改善に特に注力していくこととしています。</p>
14	<p>三条市発注工事において地元産木材の利用を徹底させる、出来ない理由の基準を高くする。</p>	<p>現在、木材の流通経路は、乾燥なども含め、産地にかかわらず県単位で構築されています。</p> <p>地元産木材の流通経路を独自に構築することは、コストの面から現実的ではなく、地元産木材の利用を市が発注する工事の条件とすることは、技術的に困難です。</p> <p>しかし、長期的な視点から森林環境が適切に保全されるよう、林業事業者の経営の効率化や林業所得の向上など、担い手を確保するための取組を進めてまいります。</p>

15	<p>国道 289 号八十里越区間の開通に向けた取組は、遠方からの観光客目当ての施策より、市民がこの峠で人生を楽しめる施設を整備してほしい。</p> <p>具体的には「ハシゴ状遊歩道」はどうか。新道と旧道の間を横方向に通路を作り、市民が時間や体力や天候などを考慮し、どこからどこまで歩くか決める。休日には公共交通も乗り入れて、トイレや水場、案内看板等を市で設置する。</p> <p>あの峠は、素晴らしい紅葉と霧の掛かった深い谷、目にしみる新緑の峠であり、市民で楽しめれば遠方の人々も通り過ぎるだけでなくゆっくり訪れる場所になる。</p> <p>ぜひ調査計画を始め、年度計画を立て予算を確保してほしい。</p>	<p>新道と旧道を相互に行き来できる通路やトイレの設置などは、工費や維持管理のコスト面などから実現は困難と考えています。</p> <p>しかし、旧道については、歴史の道として、魚沼市や福島県の只見町などと連携し、国指定史跡への指定を目指した整備を進めています。その利活用については、現在関係自治体と協議を進めており、いただいた御意見も含め、幅広く検討してまいります。</p>
----	--	---

[第3章 健康で心豊かに暮らせる環境づくりについて]

NO	意見要旨	市の考え
16	健康診査の未受診者の年齢・性別・仕事内容・正規か非正規かを調べているのか。	現在、健診の受診、未受診問わず、無作為抽出によるアンケート調査などを実施しています。その際に年齢、性別は把握していますが、仕事の内容、正規・非正規などは把握していません。
17	健康診査の未受診が全て個人の責任になっている。上記No.16の内容の調査を行っているなら、もう少しきめの細かい対策を行っているかどうか。	自分の健康を自分で守るという意識づけを行うことは重要ですが、一方で、御指摘のとおり、未受診の要因を分析した上で必要な対応を行うことが大切と考えています。総合計画案では、アンケートの結果等を踏まえ、より受診しやすい環境を整えるべく、休日の健（検）診や会場の見直しなどに取り組むほか、健（検）診をより効果的に促す取組についても研究、実施することとしています。
18	<p>適正受診の推進は、具合の悪い人が素人判断することになるため危険だ。</p> <p>過去に知人が「胃が痛い」とかかりつけ医で胃洗浄などの治療を受け、その後、吐血して慌てて病院に行ったが肝炎を発症していて手遅れだった。</p> <p>また、「足の付け根が痛い」と整形外科で治療していたが、好転せず病院を受診したところ細菌が血液に入っていて1か月後に亡くなった。</p>	<p>適正受診の推進は、緊急性の高い患者が適切に医療を受けられるよう、風邪などで症状が軽度であれば、医療資源が手薄な夜間の救急医療機関ではなく、かかりつけ医での翌日の受診を促すといったことを想定しています。</p> <p>しかし、御指摘のとおり、医療の知識がない方が判断する危険性もあることから、関係機関と十分に協議した上で取組を進めてまいります。</p>

19	<p>三條新聞に基幹病院の医師の記事があり、「望む病院の姿は5年から10年まで掛かる」と載っていた。現市長は、この問題の途中からの任期で、あずかり知らない部分も多々あると思うが、県や各病院と交渉しこの間の市民が受ける事の出来る医療を確保して欲しい。このまま進むと医療難民となる危険がある。</p>	<p>済生会新潟県央基幹病院の開院に当たって必要となる医療人材の確保は、その一義的な責任を有する県が様々な取組を実施しています。</p> <p>市においても、これまで三条看護・医療・歯科衛生専門学校の開設や看護師を志す人に対する奨学金制度の実施などに取り組んでおり、引き続き県と連携しながら必要な人材の確保に取り組んでまいります。</p> <p>また、適切な医療体制を構築するため、県央基幹病院と当地域の他の病院との役割分担や連携について、現在県が必要な調整を行っています。</p>
20	<p>高齢者が増えているが、そのための施策が少ないと感じる。私は認知症の母の介護をしたが、介護保険の制度は使えないものが多く、認知症の医者も三条には心療内科（投薬しかできない）しかないことは不幸だった。</p> <p>認知症で苦勞するのは徘徊などの問題行動だが、これは投薬だけでは治らない（そもそも認知症の治療薬は存在しない。少しの間、悪化を遅らせるだけ、しかも副作用が激しくデメリットの方が大きい。）薬よりも家族の間の心理的な問題を解きほぐす精神科医が必要である。</p>	<p>高齢者について、様々な問題が複合的に生じ、既存の制度による支援では解決に至らなかったり、制度の狭間で十分な支援を受けられなかったりする事例が増えています。</p> <p>こうした状況に対応し、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、行政のみならず、地域や各関係機関が連携して重層的な支援を行う、「地域包括ケア」の推進に取り組んでまいります。</p> <p>また、認知症については、正しい知識の普及啓発、認知症の方を支える御家族の方の心理的な負担の軽減などを図るため、三条市では「認知症賠償責任保険加入支援」「認知症高齢者等靴ステッカー見守り事業」「GPS 機器レンタル費用助成」等に取り組んでおり、適宜それらの見直しを図りながら必要な取組を実施してまいります。</p>

21	<p>大崎山、槻の森公園周辺の遊歩道を整備し、将来はクロスカンントリーコースを整備し市民大会開催を目指すくらいの施設にしてはどうか。</p>	<p>総合計画案では、公園等の配置や機能を利用者のニーズに合わせて見直すこととしています。大崎山公園は、その環境を生かし、既にマウンテンバイクのコースを整備していますが、今後についてもそれぞれの環境を生かしたその在り方について、幅広く検討し、必要な整備を行ってまいります。</p>
----	--	--

[第5章 住み良い地域づくりについて]

NO	意見要旨	市の考え
22	<p>市内の道路環境の整備に特に力を入れてもらいたい。朝夕の第二産業道路を始めとした渋滞がひどい。総合計画というならどの路線をどんな順番で整備するのかわかりは明らかにすべきである。</p>	<p>間近に迫った済生会新潟県中央基幹病院の開院や国道 289 号八十里越区間の開通は交通需要に少なからず影響を与えるものと考えています。</p> <p>国や県などの各路線の道路管理者との調整も必要となるため、現時点で整備の見通しを具体的にお示しすることはできませんが、こうした変化に適切に対応できるよう、必要な調整をできる限り早期に図ってまいります。</p>
23	<p>スケートボードや自転車の練習、インラインスケートなど、子供が乗り物の練習をできる平らで広い場所があると嬉しい。</p>	<p>総合計画案では、公園、児童遊園や緑地などの配置や機能を利用者のニーズに合わせて見直すこととしており、その過程で必要な検討を行ってまいります。</p> <p>また、御指摘の練習ができる場所は、現在も一部で既に設けており、それらの情報発信についても改めて努めてまいります。</p>
24	<p>75 才以上で免許返納した市民に無料パスを発行してほしい。</p>	<p>高齢者による事故を防止するため、また、免許返納後の高齢者の移動手段を確保するため、御指摘の内容も含め、公共交通の利便性の向上を始めとする効果的な支援の在り方を検討、実施してまいります。</p>
25	<p>公共施設の管理は市に戻し、外注や委託等が必要な場合はハードルを高く設定する。</p> <p>民間企業に業務を委託すると市の財政が助かるということは、市民の給与水準が低下するということである。職員の給与に該当する部分以外安くする項目は無く、有るなら市の努力不足ではないか。</p> <p>民間の出来る事は民間へ等の考え方が、今の三条の、日本の状態と考えます。ささやかな抵抗の第一歩として取り組んでほしい。</p>	<p>公共施設への指定管理者制度の導入は、財政負担の軽減のみならず、民間活力の導入により多様で質の高いサービスを提供することを目的としています。</p> <p>この目的が達せられているのかどうかを随時検証し、指定管理者制度の適用について、その当否を判断してまいります。</p>

26	<p>市長の「選ばれるまち」は三条へ転入してくる人の目線であり、違和感がある。圧倒的多数は昔から三条に住んでいる人たちである。</p> <p>三条は大都市のベッドタウンで、競争相手の都市がいくつかあるというケースではない。住むところを自由に選べるのは、恵まれたごく少数の人たちだ。</p> <p>私は6年前に親の介護のために三条へ戻ったし、知人は親の商売を継ぐために三条へ戻った。つまり、故郷としての繋がりを持ち続けた人が戻ってくるのだ。私のように三条から出た人に対して三条を故郷として意識し続けてもらうことが必要という気がする。例えば盆や正月に帰省する家族に対して旅費を出すなどしてはどうか。</p>	<p>「選びたくなるまち」には、今このまちに住んでいる人も住み続けたくなるまちという意味を含んでいます。そのため、総合計画案においては、政策全般で大切にしている視点として「転出の抑制」を掲げています。</p> <p>その上で、御指摘のとおり人生の転機に三条市に帰ることを選択肢の一つにしてもらうことも大切と考えており、Uターンも念頭においた「転入の促進」も大切にしている視点として掲げています。</p> <p>これまでもソーシャルメディアなどを通じた三条市出身者によるコミュニティの形成や県外在住学生に物資を提供する団体の支援などに取り組んできましたが、それらの検証を行いながら、故郷を大切に思う気持ちに寄り添う取組を実施してまいります。</p>
27	<p>森林の重要性を改めて市民と共有し、共に育林を行ってはどうか。</p>	<p>森林が持つ多面的機能を保全していくためには、御指摘のとおり、その重要性に対する市民の理解を高めていくことが必要と考えています。良好な景観の保全や土砂災害の防止など、森林が果たす役割の周知にも努めてまいります。</p>
28	<p>里山の再生に効果的であり、エネルギー効率の良い薪ストーブの普及のため、ホームページに情報交換の場を立ち上げて薪の活用を促してほしい。</p>	<p>基礎自治体が行き得る脱炭素の方策は、再生可能エネルギーを生み出すプラントの整備などに限らず、市民レベルで、気が付けば脱炭素の取組をしていたという状況を日々の生活に根付かせていくことだと考えています。それが行政主導による薪ストーブ普及のための情報交換の場の開設であるのかどうかも含め、必要な取組を検討、実施してまいります。</p>

[第7章 大切にする視点について]

NO	意見要旨	市の考え
29	<p>教員、医師、看護師、保育士などの人員不足の原因は給与が低いからだとはっきりしている。</p> <p>ICT とかそういう問題ではない。(前市長が教員の残業が多いのは勤怠業務だと言ってマイナカードで勤怠を行うようにしたが、その結果残業は減ったのか？教員は楽になったのかを検証したのか。)</p> <p>市として医師は開業すれば 3,000 万、5,000 万になるという給与の補助はできないのか。そうすれば、県央病院を作ることなく、断らない救急を実現できたと思う。彼らが県央でお金を使ってくれば、経済も回る。</p> <p>図書館などの指定管理者も正規の職員にして、きちんと給与を支払えば、サービスは向上し、経済を回してくれる。</p>	<p>保育士については、保育施設に要する経費を国が定員に応じて定めており、抜本的な給与の改善は、国主導で行うべきものと考えています。基礎自治体が実施し得る取組の例として、保育現場の負担軽減や潜在保育士の掘り起こしを総合計画案に掲げていますが、必要な取組を更に検討し、実施してまいります。</p> <p>教員については、任命権を県教育委員会が有しており、市による給与の補助が人材確保につながらないことから実施の予定はありませんが、引き続き国や県に対して人材不足の解消に向けた抜本的な対策を求めてまいります。</p> <p>また、マイナンバーカード等を活用した出退勤管理システムの導入によって、教員の勤務時間の適正化に一定の成果が上がっているものと考えています。</p> <p>医師や看護師については、現段階では、財政負担を考慮し、市による給与の補助は考えておりません。一方で看護師を確保するための奨学金制度は既に設けており、それらの効果も検証しつつ、医療人材の確保に一義的な責任を有する県と連携しながら必要な取組を進めてまいります。</p> <p>指定管理者制度については、経費の縮減のほか、民間の活力やノウハウを活用したきめ細かな質の高いサービスの提供を目的に実施しており、直営に戻す予定はありませんが、指定管理者と十分な意思疎通を図り、職員の適切な処遇の確保や更なるサービスの向上に努めてまいります。</p>

30	<p>デジタル技術が普及すると無条件に解決の可能性が有ると断定することなどは危険です。飛躍しますが江戸時代より国民の幸福度は飛躍的に上がっていますか。</p> <p>多くの文化思想が今に繋がっているが、逆に各集落での文化行事は廃れ後退しています。</p> <p>画一的な文化が全国で席卷されています。これで個性的な子供は育つのでしょうか。</p>	<p>新たな取組は、前例踏襲主義と揶揄されることのある行政が苦手とするものでもあり、市民の利便性の向上等を積極的に追求していくために、特に「新たな技術の活用」を大切にすべき視点の一つに位置付けたものです。具体的な技術の導入に当たってはそのデメリット等も検討の上、総合的に判断してまいります。</p> <p>また、御指摘のとおり世界の均質化に抗い、三条市の個性や優位性を意識して守っていくことが、まちの持続可能性を高めていくと考えています。そのため、このまちの特長を端的に示す「豊かな自然に恵まれた 歴史と文化の息づく 創意にみちた ものづくりのまち」を将来都市像に設定し、その実現に向けて各般の政策、施策を推進してまいります。</p>
31	<p>社会の課題や利便性の向上ではなく幸福度を尺度に考えてほしい。</p> <p>そうすれば、自ずと具体策は変わるのではないか。</p>	<p>幸福度の向上には、生き方や働き方の選択肢を増やし、人生の選択の自由度を高め、個が活かされる環境を整えていくことが必要と考えています。また、経済成長や御指摘の利便性の向上だけを追求するのではなく、環境の保全やゆとりの確保といった生活の質を追求していくことも豊かさを実感できる社会の形成には欠かせないものと考えています。</p> <p>こうした考えの下、「多様性の尊重」を大切にすべき視点に位置付け、各般の政策、施策を推進してまいります。</p>

[全体]

NO	意見要旨	市の考え
32	<p>パブリックコメントの募集について、市は本当に市民から意見を聞きたいと思っているのか。HPの掲載場所も分かりづらく、市政便りに掲載すれば、責任は果たしたと思っているのか。図書館のパブリックコメントの募集の時に10件もなかった反省は生かしたのか。</p> <p>また、コメント中で重要なものがあれば、計画案は本当に改訂する覚悟があるのか。図書館の時は、答えにくいものはスルーし、後は言い訳して、結局、計画案は修正されなかった。単に市民の意見を聞いたというアリバイ作りにパブリックコメントを利用しないでほしい。</p>	<p>パブリックコメント制度は、いただいた全ての御意見を計画に反映することをお約束するものではありませんが、御意見については、真摯に検討を行い、市の考え方を公表してまいります。</p> <p>なお、この度の総合計画案の策定にあたっては、パブリックコメントのほか、無作為抽出の3,000人に対するアンケート調査や総合計画策定協議会における公募委員の選任など、市民の皆様の声を反映させる仕組みを設けており、いただいた御意見等は適宜施策に反映させてまいります。</p>
33	<p>計画案全体について、過去の施策の反省と成果、それらと今回の計画案の繋がりが何も見えない。今回の計画案で示された問題点は、ここ数年の問題ではなく、何十年も前から問題視されているものがほとんどだ。改善していないのはなぜかの分析・反省の上に、今後の計画がなければならない。</p>	<p>総合計画は、現在の課題を踏まえた上でその解決に向けた政策、施策の方向性を示すものです。長期的な視点で解決を図ることが必要な課題については、一貫した考えの下で取組を進めていくことが必要と考えています。</p> <p>その上で、それぞれの課題の解決に向けた具体的な取組については、その成果を随時評価し、反省点等を踏まえつつ、適宜見直しや廃止を行ってまいります。</p>
34	<p>基本構想案は、文章から固有名詞を取り除いたら、どこの都市かわからなくなるのではないか。例えば「豊かな自然」を三条の強みと位置付けているが、具体的にどこを指しているのか。それは他の地方都市の自然とどこが違うのか。三条は、具体的に、その自然を、どういう理由で、どうしようとしているのか。そのためにいつまでに何をするのか。「計画」というなら、そこまで述べてほしい。キャンプに来ていただくのは悪くないと思うが、遠方から来ていただく価値があるのか。リピートしている方々はどのくらいいるのか。来ていただいた方、地元の方に、どのく</p>	<p>御指摘のとおり「豊かな自然」を有する中山間地域は全国各地に存在しており、その中に埋没しないためには、三条市の優れた点を適切に発信し、他との差別化を図っていくことが必要と考えています。</p> <p>その視点の一つが「豊かな自然」と密接に関係するアウトドア体験やものづくりという当市のアイデンティティにも関わるアウトドアメーカーの集積であり、「聖地」として客観的にも評価いただけるよう、計画期間における具体的な取組を検討、実施してまいります。</p>

	<p>らい意見を聞いたのか。その辺を精査した上での計画立案ではないか。また「聖地」など、あまり名前負けする言葉は慎んだ方がよいのでは。少なくとも自分から言い出す言葉ではない。</p> <p>これに限らないが、現場の人々の意見をどのくらい聞いているのか。現場を見たのかは全般的に心配なところであり、単なる机上の作文にならないようにしてほしい。全国がほぼ同じ問題に直面している現在、全てにおいて三条だけが抜き出ようとする計画は、無謀で実現不可能な計画だ。この計画で、ブレークダウンされた施策の数は60くらいで、これを6年間で実現するためには、年間10の施策の具体策を決めて実行し、完了させ、効果を検証することが必要であり、実現不可能ではないか。さらに施策についても、結局、「深化」「推進」「発展」「最適化」「発信」の連続では、反対も賛成もできない。無理に右肩上がりのキラキラしたストーリーを作る必要はなく、もう大きな建物は要らないので、地道に三条を住み良い街にしてほしい。三条は「いつでも三条に戻っておいで。みんな待っているよ」と都会に出て行った人たちに静かに呟くくらいがちょうどいいと思う。</p>	<p>これと同様に、三条市の様々な特長を生かしたまちづくりを進めていくことが重要と考えており、それを端的に示す「豊かな自然に恵まれた 歴史と文化の息づく 創意にみちた ものづくりのまち」を将来都市像に設定し、その実現に向けて各般の政策、施策を推進してまいります。</p> <p>また、三条市を住みよいまちとしていくことが必要であるということは、正に御指摘のとおりであり、転出した人もいつかは戻りたくなるようなまちを目指し、その方策を模索してまいります。</p>
35	<p>国のマイナンバーカードの強制的普及策に無条件に従わず、あくまでも個人の判断を優先することを主眼にしてほしい。情報漏洩の危険性があるし実際事件が発生していることを踏まえて行ってほしい。</p>	<p>あくまでもマイナンバーカードの取得は、任意であり、その意思に反して取得を強制することがないように、普及に向けた取組を推進するに当たって十分に留意してまいります。</p>
36	<p>計画には見当たらなかったが、例えば、三条市に3か所の子ども食堂があることが知られているか。また、コロナ禍で熱が出て、すぐに診察してくれる病院があるのか。長期の計画のほかに、待ったなしの支援を待っている人たちがいることを忘れないでほしい。</p>	<p>御指摘の待ったなしの支援を必要としている人を守り、市民が抱える暮らしの不安の解消に努めることは、行政の最も基本的な使命のひとつです。</p> <p>この最も基本的な使命を忘れることなく、経済的に恵まれない家庭への支援や医療提供体制の充実を始め、各般の政策、施策の推進に取り組んでまいります。</p>